【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2003-36626(P2003-36626A)
【公開日】平成15年2月7日(2003.2.7)
【出願番号】特願2001-220836(P2001-220836)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ１１Ｂ　23/03
【ＦＩ】
　Ｇ１１Ｂ　23/03　　６０４Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月16日(2005.2.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ディスク状の記録媒体を内包したディスクカートリッジにおいて、
　該記録媒体を記録あるいは再生する記録／再生装置は、該記録媒体を記録／再生する記録／再生ヘッドと、該記録媒体を保持し回転する回転手段を有しており、
　該記録媒体は、前記回転手段に接触し保持されるクランプエリアが規定されており、
　また、該記録媒体より外径が大きい大径記録媒体が規定されており、該記録媒体と該大径記録媒体は、記録フォーマットおよびクランプエリアが等しく、
　該記録媒体を内包する前記ディスクカートリッジは、前記回転手段が該記録媒体を保持するために開口されたクランプ用窓と、前記記録／再生ヘッドが該記録媒体を記録／再生するために開口されたヘッド窓を有しており、
　該ディスクカートリッジは、前記ヘッド窓を開閉可能とするシャッタを有しており、
　該ディスクカートリッジは、前記シャッタによる前記ヘッド窓の開閉に関係なく、前記クランプ用窓の少なくとも一部を常に開口していることを特徴とするディスクカートリッジ。
【請求項２】
　請求項１記載のディスクカートリッジにおいて、
　前記ヘッド窓とクランプ用窓が連続した１つの開口窓で形成されているとき、
　前記シャッタは該開口窓のうち、前記記録媒体のデータ記録部が前記開口窓から露出する範囲を開閉し、その他の開口窓はシャッタによる開閉に関係なく、少なくとも一部を常に開口していることを特徴とするディスクカートリッジ。
【請求項３】
　請求項１記載のディスクカートリッジにおいて、
　前記記録媒体の外径が８０ｍｍ未満であることを特徴とするディスクカートリッジ。
【請求項４】
　請求項１記載のディスクカートリッジにおいて、
　前記記録媒体の外径がほぼ６４ｍｍであることを特徴とするディスクカートリッジ。
【請求項５】
　請求項１記載のディスクカートリッジにおいて、
　前記大径記録媒体の外径がほぼ１２０ｍｍであることを特徴とするディスクカートリッジ。

【請求項６】
請求項１記載のディスクカートリッジにおいて、
前記記録媒体のクランプエリアが直径２２ｍｍ以上３３ｍｍ以下の範囲にあることを特徴とするディスクカートリッジ。
【請求項７】
請求項１記載のディスクカートリッジにおいて、
前記ディスクカートリッジから前記記録媒体が取り出し可能とするディスク取り出し口を設けたことを特徴とするディスクカートリッジ。
【請求項８】
請求項１記載のディスクカートリッジにおいて、
前記記録媒体のクランプ用窓の幅が、ヘッド窓の幅またはシャッタの幅より大きい
ことを特徴とするディスクカートリッジ。